

REPORT

11/17

医療法人篠原湘南クリニック

歌と語りでつながる時間を 利用者・家族と共に楽しむ

湘南海岸のほど近くにある医療法人篠原湘南クリニック介護付き有料老人ホームクローバーガーデンは、11月17日に「芸術祭「歌と語り」を開催した。同イベントは同ホームのケアマネジャーが、入居者をより楽しませたいと考えて企画したもので、入居者や家族のほか、近隣の住民なども多く訪れた。

同法人の篠原裕希理事は開催に先立ち、「人



会が進むに連れて、会場の盛り上がりも高まった

生100年時代を迎え、質の高い時間をより長く過ごしていただくための場にしたい」と挨拶した。

イベントは2部に分かれており、1部は花の細密画を得意とする画家の加藤雄詞氏が「花から学ぶ人生」をテーマに、自らが描いた花の絵を前に講演を行った。「師匠は花。生花に負けない花を描いていきたい」と述べるとともに、会場には女性が多かったこともあり、花の絵を見て笑顔になる人が多くいることが嬉しいと感想を述べた。続く2部は、歌手の信太美奈氏の歌を中心に展開。ラプソディ・イン・ブルーや星めぐりの歌、オーバーザレインボーなど、誰もが一度は耳にしたことがある曲が披露された。観客も合いの手や掛け声を入れることで、会場全体が一体となって

音楽を楽しんだ。「声帯が広がるのは健康にもよいこと。芸術に触れることは、心をなごませることもつながります」と、信太氏は歌唱のメリットを語った。

イベント終了後、篠原理事長はこのようなスタッフ発案のイベントを行うことが、スタッフの魅力ある職場づくりにもつながると強調。「笑顔になるご利用者をご家族が見ることで、「自分では話をしていない」という後ろめたさを、感じないようにしてあげたい」と、家族への気遣いもイベントにはあると述べた。

イベント終了後は、飾られた絵を前に話が弾む姿や、登壇者と写真を撮る姿などが随所で見られ、笑顔にあふれた一日となった。